

# 謹賀新年

遂に干支が一周して13年目に突入です。会社の分断政策にも心揺らぐことなく、変わらぬご支援を本当にありがとうございます。

## 青空チャンネルのお勧め

昨年より、状況が刻々と変化していき、正しい情報がお手元に届きにくくなっているかもしれません。そこで、YouTubeの『青空チャンネル』をお勧めします。

JAL 青空チャンネル  
YouTubeで配信中



視聴の仕方がわからない方は若い方に聞いてみてください。すぐに教えてくれます。簡単です。これを見れば、モヤモヤ感から解放され、視界良好になること間違いなしです。

## JAL 愛媛争議団を支える会

### ニュース



勝利解決の日まで  
たたかう

発行：JAL 不当解雇とたたかう愛媛争議団を支える会  
連絡先：愛媛自治労連会館3F 愛媛労連内  
松山市三番町8-10-2

## 私も 応援します

## ひとりひとりが幸福になるために

松山市民劇場 事務局長

久野はすみ

何かおかしいと感じ始めたのは、2010 年頃でした。2017 年に松山市民劇場（会員制の演劇鑑賞会）の事務局として民主的な組織運営に関わるようになり、違和感は確信に変わりました。それは、この国では「ひとりひとりの幸福」があまりにも軽視されているということです。

職場では常にコストパフォーマンスとタイムパフォーマンスが求められ、身を粉にして働いても賃金は上がらず、要求が増えるだけ。苦しいと言えば「自己責任だ」「自分はもっと苦しい」と非難されます。弱者が弱者を踏みつけ、冷笑する構造に憤りを覚えます。

もともと「無駄」と思われがちな演劇は、コロナ禍で「不要不急」とまで言われ、私たちも大きく会員を減らしました。しかし、演劇のつくり手たちは実にしぶといです。連帯し、文化・芸術の大切さを訴え続けています。彼らが粘り強いのは、数多くの舞台を通して「個人の幸福」が認められなかった時代を記憶しているからかもしれません。

不当な扱いに声をあげることがいかに大変か。私は、JAL 不当解雇のたたかいに関わるみなさんを尊敬し、応援します。JHU の 32 人の幸福が、あらゆる人の幸福につながるように、一緒に頑張っていきましょう。

状況報告もいいけど、愉快的な気分になれる乗務していただけた話も聞きたいというご要望にお答えして、2023年の初笑いを『イレギュラーの女王』がお届けいたします。



JAL 被解雇者労働組合  
西予市在住 大池ひとみ

### 中国線デビューフライトの巻

私が乗務を始めた頃は、中国とソ連は航空会社と一定数のパイロットを与え、それを保持する者しか入国を許さなかった。1970 年後半、1980 年頃のこと。当時の中国線は北京のみ。

（裏面に続く）

朝鮮半島を避けて、東シナ海から回るルートで、飛行時間は4時間超え。そして当時、中国はまだ機内食を提供できるような環境になく、外国人が宿泊するホテルの確保も難しいということ、日帰り乗務。国際線の1日2回着陸は6時間半以内と決められており、片道4時間かかっていたのは勤務協定違反となる。そこで、1機に2グループ乗って、行きと帰りと交代で乗務する方法を取っていた。

### 私の中国線は3年目の春に

私の中国線は3年目の春にめぐってきた。行きはお客さんとして制服の上に私服の上着を羽織って後方座席に座り、帰りはそれらを脱いでスチュワーデスに早変わり、というのが私のグループのその日の役割。

食事のサーヴィスが終わり、少しウトウトしたり、帰便の予習をしたりして過ごしている。と、「北京周辺は黄砂のため視界悪く、上海上空にて待機する」というアナウンスあり。いやな予感。その後も天候回復せず、上海に着陸。ついには上海泊まりが決定。日帰りのため、宿泊の用意をしておらず（会社は常に1泊分の用意を奨励）着の身のまま飛行機を降ろされ、市内支店からやってきたスタッフから2グループをホテルへ案内。空港そばの建物はホテルというより病院。部屋には寝台と机と椅子とランプ。電話はなかった。トイレとシャワーは共同。これ、どうする?!

### 失意の食事と

#### 制服のままでの就寝

とりあえず地上スタッフが街へ夕食に連れて行ってくれることになった。バスを降りると、人々にもみくちゃにされ、前に進むことができない。男も女も

子供も老人もみんな同じ色の人民服を着て闇に同化し、塊になつて殺到。まるでスターになったような気分の人を掻き分けレストランに入った。我らの服装や化粧やヘアスタイルには色があつた。大した色ではないのに、よっぽど珍しかったのだろう。

そしてお食事。香港やシンガポールでおいしい中華料理に舌が慣れて来た3年目の私は、中国4千年の本場の味にありつけると密かにワクワクしていたが、正直に言つてまずかつた。洗練されてない食材と味付け。シヨックだった。最後に出てきたデザートはアイスクリームで、質の悪い紙の箱に入った乳脂肪分ほぼゼロの代物。失意のまま空港ホテルに戻り、私はシャワーも浴びず、制服を着たままマグロのように寝台に横たわつて一夜を明かした。

### 中国線デビューフライトは

#### 仕事なしのサバイバル旅行

翌朝、往路便乗務のチーフパイサーが、集合時刻とこの先のスケジュールを全員の部屋をノックして知らせてくれた。部屋に電話がないので仕方ない。それによると、まず昨日のお客様を乗せて北京まで飛ぶ。その区間（上海〜北京）は成田から乗務してきた者が引き継ぐ。

そして、復路便（北京〜成田）はフェリーフライトとなる。フエリーとは回送のこと。帰便の食事は成田から積んで来ていたもので、衛生上、提供は不可。北京からの搭載も不可。それではお客様をお迎えできない。

ということで、私の中国線デビューフライトは、行きも帰りも仕事をせずに、美味しくない中華料理を食べに行った1泊2日の着の身着のままサバイバル旅行となった。

## 今年は必ず、勝利解決の年に



2022. 12. 8総決起集会に結集した多くの支援者

2022. 12. 21県庁前宣伝参加の支える会の仲間



初フライトで急病人第一発見者となつて以来、私は数々のイレギュラーに遭遇してきました。この経験は、どんなことにも動じない、与えられた環境の中でできることをやる、決してへこたれない、きつとなんとかなる、というポジティブシンキングを植え付けてくれました。現在の状況に耐えて明るく元気にいられるのはそのおかげかもしれせん。

続きはまたの機会に！